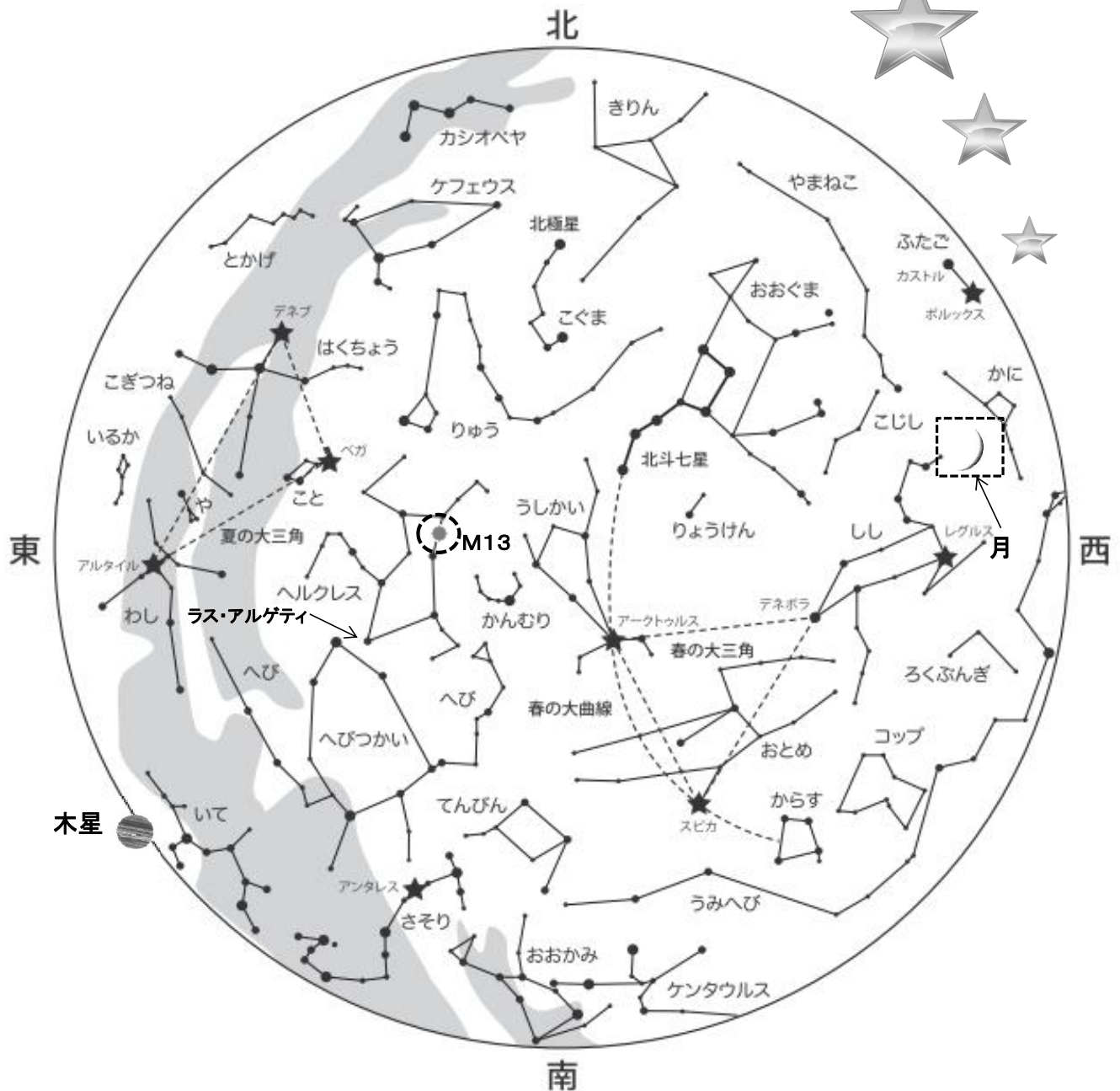


松江市立天文台～6月の天文教室～

令和2年6月24日

～6月下旬午後9時頃の星空～



ここ数か月私たちの暮らしは大きく変化しました。
しかし宇宙の営みは、そんな私たちの混乱をよそに、変わることなく自然の法則で巡っていきます。
季節は春から夏へと変わり、星座もしし座、おとめ座など春の星座から、こと座、さそり座など夏の星座へと徐々に変わりつつあります。

6月下旬午後9時頃の星空です。
月、木星の位置は6月25日現在のものです。
各天体の見かけの大きさは強調してあります。
この星図で星を探るときは、見る方角を下にしてみました。

今夜の月



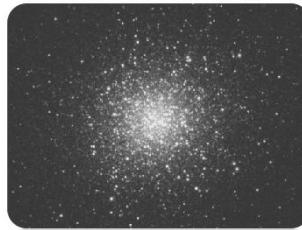
今夜の月は月齢3
21日の日食で太陽を隠した月は西の空に見えています。
弓のような細い月をよく見ると、うっすらとした暗い部分もわかります。
これは、地球で反射した太陽の光が月を照らしたもので、「地球照」と呼ばれる現象です。

ヘルクレス座



ヘルクレスは、ギリシャ神話に登場する有名な英雄ですが、そのわりには明るい星がなく、みつけにくい星座です。
この星座を有名にしているのは、北半球で見える最大級の球状星団M13の存在です。
また、α星のラス・アルゲティはオレンジ色と青緑色の美しい二重星で、望遠鏡で星の色の比較が楽しめます。

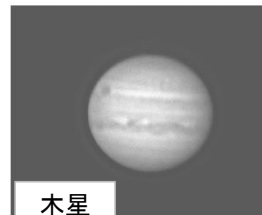
球状星団M13



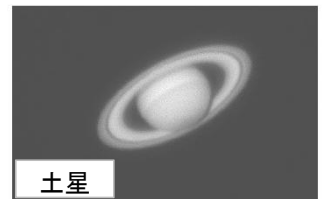
M(メシエ)13は、50万個もの星からなり、その直径は約100光年あると言われています。
双眼鏡でも丸い星雲状に見える、大きな天体望遠鏡になると星がひとつひとつ分離して息をのむほどの美しさです。

今年の夏は惑星！！

天文教室が終わるころ南東から木星が、さらに10時ころ土星が昇ります。
ふたつの惑星ともに明るく見えるので、すぐに見つけられます。
次回の天文教室では、夏の星座とともにご覧頂けると幸いです。



木星



土星

木星と土星の姿です。
小型の天体望遠鏡でも美しい姿を観察できます。

松江星の会 古都さん 撮影

資料のデータは、国立天文台、天文年鑑、アストローツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 7月28日(火)・29日(水)
時間～いずれも20時から21時まで
受付～19時30分から市役所正面玄関で行います。(予約不要)
※日程が変更になる場合があります。
その際はホームページでご案内します。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会